



双塔

カトリック新潟教会

2026年2月

No. 452

植物学者フォーリー神父

主任司祭 田中 丈夫

カトリック新潟教会は、今年、創立 150 周年を迎えますが、教会創立時前後の時代の空気感をほんの少しでも感じたいと、この頃考え続けています。そこで今回は、1873(明治 6)年に来日、助任司祭として新潟教会へ赴任したパリ外国宣教会のフォーリー(Urban Jean Faurie)神父の活動に注目し、当時の空気を吸い込もうと考えました。〔主に『“双塔”特集号(117号)「カトリック新潟教会百年の歩み - 聖堂献堂 50 周年を祝して-」』に掲載された青山玄著『新潟教区宣教小史(1972)』を参考。〕

「1871(明治 4)年 4 月 1 日、パリ外国宣教会のエヴラル神父が新潟で布教する使命を帯びて来潟。しかし、明治初年に種々の誤解が生み出した、外国人に対する民衆の反感も大きく、布教活動はほとんどできないまま 1875(明治 8)年 9 月、新潟で一人の信者も獲得しないうちに神父は横浜に転任。10 月、後任のドルワール神父が東京から歩いて新潟へ来任した。」と資料は伝えます。

フォーリー神父はエヴラル神父のもとで日本語の習得を終えた後、1875(明治 8)年ごろから新潟近郊の諸地方を巡って、伝道の端緒を掴もうと努めたが、なかなか成功せず、道すがらめずらしい植物の採集を始めた、との記述がありますが、ここからは、宣教の厳しさに直面しながらも、はじめて訪れる地に咲く草花に注がれる『父である神の愛』を観ている神父の柔らかな眼差しを感じることができそうな気がします。〔「布教活動はまったく成果が上がらず、フォーリー神父は悲嘆する日々を送っていたが、1874(明治 7)年に植物学者のアドリアン・ルネ・フランシェより依頼を受け、日本の植物採集を始めた。また、同年 4 月にはエヴラル神父のもとへ原敬が書生として働く事となったため、フォーリーは原と日常生活を共にし日本語を学んだ。」以上 Wikipedia〕

一方、「大江雄松伝道師等の協力を得て、新津・五泉・新発田などで活発な巡回伝道を開始し、1876(明治 9)年 6 月 15 日には、新発田の佐藤栄太郎氏(29 歳)がフォーリー神父から受洗した。新潟教会洗礼台帳に記録されている第 3 番目の受洗者である。」等の記述を見ることができます。

ところで、フォーリー神父は有名な植物学者であり、来日当初から布教活動の傍ら植物採集に励み、その足跡は樺太から台湾、朝鮮半島にまで及び、採集した植物をフランスをはじめとする海外へ送ったこと、また、フォーリー神父の銅像が台湾の台北植物園内にあること等を、S・J 氏からの情報で知りました。銅像は 1917 年、加茂市生れの早田文蔵という有名な植物学者によって建てられたと記録されています(現在の銅像は 2017 年に復元)(以上 Wikipedia より)。

最後に、青山玄神父が『新潟教区宣教小史』のはじめに述べている考察をここに記します。

「徳川幕府が崩壊し、維新政府が西洋文明の導入に積極的に取り組むようになると、キリスト教宣教師も、伝道活動をなしくずしに国内諸地方へ広めた。それは地方の官憲または住民団体からの要請に基づいてなされた伝道ではなく、多くの場合、いわば、中央政府からの一般的許可や容認をくさびにして、個々の宣教師が、保守的な地方社会の中へ割り込んで行った活動であった。そこに、仏教伝来の場合とはかなり性質の異なる無理があり、その当然の結果として生じる宣教師の苦勞や、宣教師の熱意に動かされて改宗した信者の、地域社会の中での悩みも、生やさしいものではなかった。」
「本稿は、このようにして始められたカトリック布教が、新潟、山形、秋田の 3 県で、その後どのようにして発展して今日に至ったかを概観することを目的とする。・・・。」

小教区評議会より

1. 各部会報告

- 1) 典 礼 部 報告事項は特になし。
- 2) 広 報 部 12/21 部会、月刊双塔編集・発行（140 部）、季刊双塔発行、皆様のご協力に感謝。
- 3) 総 務 部 12/14 部会、11/23 王であるキリストの祭日 茶話会、12/25 クリスマス 祝賀会、12/28 聖年閉幕式 茶話会、1/1 賀詞交歓会の準備と実施。
(2 月第 1 日曜日共同祈願文担当、2 週間前までに典礼部へ)
- 4) 経 理 部 12/28 教会維持費の整理。
- 5) 国際協力部 12/21 部会、待降節黙想会の振り返り。前回評議会で差し戻しとなった案件（ミサ前後の観光客受入れ制限の提案）については取り下げ。2、3 月の英語ミサはロレンゾ師休暇のため、フック師担当。四旬節英語黙想会はフック師指導で 3/1 の予定。
- 6) 施 設 係 アンジェラスの鐘の不具合への対応として、手動でも鳴らせるようにしたが、その後、紐が切れたので、今週中（1/5月～9(金)）に業者が修理予定。
- 7) 信 仰 養 成 第二土曜日に町田神父指導による信仰養成講座を開催。

2. 行事関係の確認事項

- 1) 1月の主な行事（追加・変更特になし、但し、1/4 成人の祝福は、今年は該当者なし）
- 2) 2026 年 2 月の主な行事（2 月の予定表の通り）

3. その他・継続協議中のもの

1) 2026 年度 小教区総会について

■ 信徒代表及び副代表の推薦と選任について

候補者に数名の方の名前が上がった。主任司祭から打診、承諾いただいた方を信徒代表、副代表として任命する。

■ 2026 年度 年間テーマについて

→司教様の 2026 年 年頭司牧書簡を参照し、以下の通り、話し合いのもと大目標、小目標を決定。

大目標：キリストにおける交わりを深める。

小目標：互いのことを知り、学ぶため、共同体で高齢者、外国籍の方、若い世代、子どもとその親などの声を聴く。

■ 2026 年度行事予定について

- ・昨年まで、司祭のお祝いを叙階記念日としていたが、本年度から霊名の祝日に変更。
- ・9/13(日)新潟教会創立 150 周年記念ミサを追加。
- ・新潟カトリック共同墓地委員会総会（新潟地区墓地委員会から名称変更）の日程 2/22(日)を追記。
- ・本年度から、ダイヤモンド金銀祝ミサを教区予定に記載。日程は 10/12(月)

■ 総会準備について

2 月評議会で総会資料を承認、その後印刷作業をするので、今年度は事前配布せず、総会当日(2/8)に信徒へ配付。（総会資料「各部・委員会活動報告」ㄨ切は 1/24(土)）

2) 主任司祭の以下提案について

■ 「新潟カテドラル記念事業実行委員会(新潟カテドラル保存会)」の名称を『カトリック新潟教会 建設・記念事業委員会(新潟カテドラル保存会)』に 名称を変更する。

→カテドラル保存会で審議する。

■ 「信仰養成」を【信仰・共同体養成】に名称変更。〈信仰養成講座〉の名称はこれまで通り。

→関連規約の修正原案を提示頂き、改めて評議会で審議する。

3) 新潟教会創立 150 周年記念式典について→次回継続審議

4) 大規模修繕を行う旨の公告の結果について

主任司祭、現時点まで反対意見の申出は直接受けていないと報告。教区のほうでも確認。

4. 次回開催日 2 月 1 日(日) 9:30 ミサ後

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 3月9日(月) ※2026年1月、2月は、休会

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

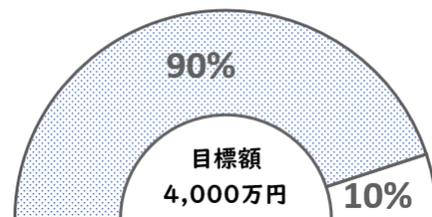
献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2025年12月31日現在 累計額 3,596万円(進捗率：90%)

(1万円以下四捨五入)



※ベトナム料理・シフォンケーキ・コーヒー・手芸品の売り上げについて

いつも特別献金の活動にたくさんのご協力をありがとうございます！

①ベトナム青年たちのベトナム料理販売（2025年3回分；個人献金を含む） 205,200円

2025年分の献金として教会へ納付されました。

②12月28日シフォンケーキ売り上げ 9,600円

③12月7日手芸品 英語ミサ後販売 1,182円

②、③は、ドリップコーヒーと合算して、9/28～12/28までの売上金の中から40,000円を教会へ1月に納付しました。今年もどうぞよろしく願いいたします。（報告：新潟カテドラル保存会）

●ろうそくと枝の受付箱を聖堂入口近くに設置のこと（典礼部）

- ・「主の奉献」の祝日（2月2日）にろうそくを祝別します。

希望者は名前を記入した袋または箱に入れたろうそくを聖堂内の所定の箱に入れてください。

受付期間：1月4日～2月1日

- ・昨年の受難の主日に祝別された「枝」を回収します。

お持ちの方は聖堂入口近くの所定の箱に入れてください。

回収期間：1月18日～2月15日

●小教区総会が開催されます（小教区評議会）

今年の総会は2月8日ミサ後に行われます。当教会の活動報告、活動計画、教会会計の報告などがあります。万障繰り合わせの上、ご参加ください。

2026年2月の予定

修正 (Revised)

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(日)	年間第4主日 ・小教区評議会 (9:30 ミサ後 研究室) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ：英語ミサ後)
2日(月)	主の奉献 (祝日) ・司祭静修 (~3日) ・ロウソクの祝別
5日(木)	日本26聖人殉教者 (聖パウロ三木と同志殉教者) (祝日)
6日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
8日(日)	年間第5主日 教区青少年の日献金 ・小教区総会 (9:30 ミサ後)
11日(水)	世界病者の日
14日(土)	・信仰養成講座 (10:00 研究室) ※指導：町田神父
15日(日)	年間第6主日 ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後) ・ベトナム語ミサ (12:00) ・総務部会 (清掃後 研究室) ・国際協力部会 (清掃後 研究室) ・広報部会 (清掃後 事務室)
18日(水)	灰の水曜日 (大斎・小斎) ・ミサ、灰の式 (10:00) 四旬節愛の献金 (四旬節中)
20日(金)	・十字架の道行 (10:00 ミサ後)
22日(日)	四旬節第1主日 ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務室) ・新潟カトリック共同墓地委員会総会 (12:30)
27日(金)	・十字架の道行 (10:00 ミサ後)

※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜 12:00) ベトナム語ミサ (第3日曜 12:00)
火曜～木曜、土曜 (7:00) 金曜 (10:00)

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00 (都合により左記時間が変更となる場合がございます)

